

一般質問

3月7日(月)

児童生徒の問題行動の現状と対策は



松永 憲明

①ここ三年間の発生件数
②どのような課題があるか
③これまでの対策内容④生徒、保護者をサポートしていくための今後の取り組みは。

会の教育力向上等③学校に生徒指導体制を整え対応。市立小・中学校生徒指導協議会を開催し学校間で連携。また学校だけでなく教育委員会全体で対応する体制を整備④学校問題解決サポート事業により生徒、保護者へのサポート体制が確立しつつある。この体制を機能・充実させていく。

◆その他◆通学路の安全対策について

答弁 ①窃盗二十年度三十四件、二十一年度六十六件、二十二年度四十五件。補導件数三八件、八〇件、五一件など②基本的な生活習慣の確立。規範意識の醸成。問題行動の早期発見。地域社



「市政ここが聞きたい」

施設管理センターの機能充実を！



堤 正之

①施設管理センターは市道・水路等の応急補修を行っているが、今後の業務量の見込みは②現有職員体制の維持と技術職雇用の考えは③所掌範囲を拡大し、農道や公共施設の補修、市民の「困った」に広範囲に対応する部署にする考えは

答弁 ①今後、自治会の

高齢化に伴い、地元だけでの清掃活動などが困難な場合には施設管理センターでの支援、協力等がふえていくと考える②部内の人員配置を再検討し、市民サービスが低下しないような体制づくりを検討したい。また、嘱託職員は専門的な技能を持つ方を優先して雇用したい③少子高齢化が進む中、市民からの要望はますます

ふえていく。特に多くの要望がある道路、河川、公園管理及び環境分野を一元化する

◆その他◆市街化調整区域

で開発される新規住宅の下処理方式の選択基準について

沿岸道路一部開通後の安全対策は？



中野 茂康

有明海沿岸道路の嘉瀬南ICと久保田IC間が開通

したが、久保田IC近くには思斉小中学校があり、沿岸道路と交差する県道の歩道は通学道路となっている。開通により車の通過が多くなっているが、通学時の安全対策はどうなっているか。

答弁 有明海沿岸道路の開通によって、増加した交通量が児童・生徒の通学にどう影響するのかわかりにくく、見きわめる必要がある。特に思斉小中学校前の県道の歩道は非常に狭いため、児童・生徒に適切な指導を行うよう学校と協議する必要があると考えている。

◆その他◆農業

また、安全施設の設置についても、必要な部署に働きかけをしていきたい。今後、必要な対応を迫ら

振興について（戸別所得補償制度の本格実施による影響について）／緑の銀行について



施設管理センター



蒼海(副島種臣)記念の取り組みを



永瀬 義久

小城市の梧竹記念館は開館十一年を迎える。①佐賀市も蒼海記念館を設置しては②専門の学芸員を採用しては③蒼海のパンフをどうしているのか④蒼海記念の作品展やイベント実施の考えは⑤市民所有の書作品の維持保存の支援をしては。

記念館に二点と歴史民俗館に二点で、展示する作品としては少なく、記念館の設置は難しい②今の時点で学芸員の採用は考えていない③市が各施設において所有する作品や神社仏閣が所有する作品など、見学しやすい情報に限定して、簡単なパンフレットを作成している④博物館や一般の方の協力を得ながら、今後、蒼海のイベント開催を検討したい⑤作品が個人の財産である以上、市費で維持管理を支援することは難しい。



蒼海の書

◆その他◆まちづくり(佐賀駅周辺の賑わい創出)について/広域連携(有明海周辺都市間交流)について

3月8日(火)

福岡からの移住促進策の具体化を



田中喜久子

JR特急増便を好機として福岡からの転入・定住策を進めるべき時だが①通勤費補助の取り組みは②新築・定住住宅リフォーム助成を制度化すべきでは③ま

ちの総合力を上げるだけでなく、他市との差別化やアピールのための具体策は。

◆その他◆まちづくりの考え方として、まちの総合力を上げることが考えている。在住の市民にも有益な施策を目指しており、転入者に絞った施策は考えていない②リフォームへの助成は県の制度の内容がわかった時

点で市としてできることを整理する必要がある。住まいづくりの奨励金は現在北部山間地域に特化した政策に取り組んでいる③政策調整監会議で定住や交流人口の増加策等を検討している。特急の増便への対応は市長の特命事項でもあり、今後多方面から検討したい。

◆その他◆行革の検証について/男女共同参画行政について

葉隠発祥の地への支援を



西村 嘉宣

今、葉隠は世界的に見直されようとしているが①葉隠と葉隠発祥の地についての認識は②これまでの整備の経緯は③葉隠の中では「人のために尽くす」ということが多く出てくるが、公民館での講座等に支援はできないか。

◆その他◆まちづくり(佐賀駅周辺の賑わい創出)について/広域連携(有明海周辺都市間交流)について

二代藩主鍋島光茂の家臣山本常朝が主君を弔うため金立の黒土原に出家し隠棲生活を送っていた際、三代藩主鍋島綱茂の



祐筆[※]役を務めた田代陣基がそこを訪れ、常朝の口述を書きとめた佐賀藩の歴史書。葉隠発祥の地はそのゆかりの地として後世に残すものと認識②平成二年度に整備計画を策定し、計画面積の約八割を買収。平成三・四年度公園仮整備、

平成七年度仮駐車場整備、平成十・十一年度案内板設置③既存の補助制度を使い積極的に支援したい。

◆その他◆国民健康保険について/農業振興について/環境センターについて/パワハラについて

第二次佐賀市教育基本計画の特色は



川副龍之介

①重要度が高い子育て支援の充実をどのように図るのか②私立幼稚園・保育所と比較して市立幼稚園・保育所の特色は③幼稚園・保育所への特別支援サービスの内容は。

進事業、児童虐待防止ネットワーク推進事業の三つの事業を重点的に取り組む②行政機関との連携がとりやすく、緊急に保育の必要性がある場合の対応や特別な支援を要する子どもの受け入れに対して柔軟に対応できる③特別な支援を要する子どもたちを受け入れた幼稚園・保育所に補助金を出す障がい児保育事業を実施していく。指導、助言を行っている専任指導員を来年度



は増やし、就学相談等にも丁寧に対応をしていく。

◆その他◆TPP問題についての考え方/普通財産の有効活用について

※2 隠棲：俗世間を逃れて静かに住むこと。また、その住まい。

※3 祐筆：武家の職名。文書・記録の作成をつかさどった。

歴史文化を生かした観光振興策を



亀井 雄治

①三重津海軍所跡の世界遺産登録に向けてはどのようなスケジュールと手順を進めていくのか②世界遺産となるためには地元の盛り上がりが必要だが、どのように取り組むのか③三重津海軍所跡地は目に見える形での整備をするのか。

答弁 ①現在、世界遺産委員会へ提出する登録推薦書の準備作業の段階である。

化学物質過敏症への取り組みは



本田耕一郎

平成二十一年十月に病气として認定され、健康保険の適用となったが、市立富士大和温泉病院において診察を受け、診断書が書けないか。また、行政の市立病院として救済するシステム

次年度中に関係自治体で具体的なスケジュールを策定する予定②県、NPO、企業、大学等と連携して、シンポジウム、出前講座、メディアでの広報を行っている。また、ポスター等のデザインの新、大型看板の設置などを行っている。今後、世界遺産登録推進の活動が市民の目に触れる機会をふやしていく予定③現在、調査している結果等を踏まえ、集客力や費用対効果などを勘案しながら検討したい。

◆その他◆市税収納率向上対策

づくりができないか。

答弁 化学物質過敏症は原因を特定することが難しい。この病名を診断するには相当の検査を要し、その検査にはそれなりの施設、機器が必要となるため、現状では当院でその判断を下すことはできない。先進医療機関等で検査方法、診断基準等が明確になってから取り組みを考えることが妥



佐賀藩三重津海軍所絵図（財団法人鍋島報効会所蔵）

3月9日(水)

高齢者の安心、安全を！



山田誠一郎

認知症の高齢者が、ひとり歩きで行方不明になった場合に對する市の事業としての支援サービスがあるのか。制度があれば、その事業概要及び利用者数は、ま

た、その制度を利用して家族の評判は。

答弁 GPS^{※4}を利用して行方不明の高齢者を捜す徘徊高齢者家族支援サービスがあり、初期費用など、一万二、〇〇〇円を限度として補助する制度である。利用者の数は、平成二十一年度は一九件、平成二十二年度は二十三年二月現在で一

三件となっている。利用者の評判は、GPSを持たせることで、万が一、徘徊があっても捜すことができ、家族としては安心材料になっているという意見や、一方で、本人がGPSを持つていくことを忘れ、所持させることが大変だとの意見もある。

◆その他◆独居老人・高齢者の現状について

各スポーツ団体の誘致を！



実松 尊信

①プロスポーツチーム、社会人チームが佐賀市に本拠地を置けば、経済効果はもろろんのこと、子どもたちの夢も広がり、何よりも市民が一つになり活力をもたらえると思うがどうか②学生スポーツのキャンプ誘致を行ってみてはどうか。

体育施設等の環境が現在整っておらず、積極的なアプローチは行っていない。しかし、レベルの高い技術を間近で見たり選手との交流の機会がふえることは、競技レベルの向上はもろろん、子どもたちの夢も広がり、佐賀市のスポーツ振興に寄与すると考えている。また、市民の連帯感を強め、地域の活性化にもつながるとい

◆その他◆市内グラウンドの活用について

うことは認識している②現在の体育施設で可能かどうか、まずは情報を収集して今後研究をしていきたい。



※4 GPS：人工衛星を利用して自分が地球上のどこにいるのかを正確に割り出すシステム。

公共施設内の防犯対策の強化を



池田 正弘

公共施設内での犯罪や迷惑行為が年に数回発生している。総点検を行い、危険箇所があれば改善をすべきではないか。また、緊急時における職員の対応マニュアルや防犯に対する指針を

策定し、防犯対策を強化すべきではないか。

答弁 ガイドラインの作成は必要と認識。建物だけでなく建物以外をどうするかなどの考慮も必要。まずは各所管課で管理している施設を取りまとめる必要がある。また、市民の安全を守るための防犯対策がどうあるべきか、他市の事例等を研究し、検討すべき。当

街なかのにぎわいを



山下 伸二

中心市街地活性化のためには街なかのにぎわいづくりが欠かせないが①空き店舗率の推移は②通行量の推移は③ハローワークの移転の効果は④空き地の取得や交換等による、有効的な土地活用を図るべきと考えるがどうか。

答弁 ①平成十四年一五・五%で、十七年には二一・三七%に上昇。以降同

水準で推移し二十二年は二二・九%②ピークの昭和六十年は四日間間で三四万九八〇七人だったが、平成二十二年には六万八、六九七人。ただ一昨年と比べ一・二%増で十年ぶりに増加に転じた③エスプラッツのスーパーマーケットは、対前年同月比一%から三%売り上げ増が続いている④来年度空き地を

活用した社会実験を計画。効率的な土地利用について関係者



空き店舗が目立つ中心市街地

と協議し検討を深めていきたい。
◆その他◆河川環境の改善について

再任用職員採用は見直すべき



平原 嘉徳

昨年度末で四二名が採用され年々増員されている。市民を加えた第三者機関で選考すべきであり、嘱託職員等に切り替え、その分市民の雇用の門戸を開くべき。そこで①本年度の採用現況

②過去の受験者数と採用率③フルタイム勤務の給与は

答弁 ①本年度の定年退職者は公営企業を除いて、六一名。そのうち、再任用を希望した職員は三五名である②平成十九年度から二十一年度までの三カ年で、再任用希望者四九名に対して、結果として、全員を再任用職員として採用している③再任用フルタイム勤務

者の給与支給額は、年収で約三六〇万円になる。

◆その他◆教育行政について／防犯対策について／道路橋りょうの修繕計画について



3月10日(木)

国際リニアコライダー誘致を!



山口 弘展

この建設誘致に向け、佐賀県は平成二十三年度当初予算に約二、〇〇〇万円の地質調査費を計上した。誘致できた場合の新たな産業、経済に及ぼす波及効果を考えた場合、佐賀市は今後佐賀県としっかりと運動していくべきと考えるが、見解は。

答弁 国際リニアコライダーの誘致に当たっては、単独の自治体だけでなく、

県や他の自治体及び関係団体との連携、協力が重要と考えている。

地域浮揚につながる取り組みであり、国際的な施設ができることで、

世界の頭脳が集まり、新しい産業の集積や技術革新、子どもたちが最先端科学に触れることに

よる学習意欲の向上、基礎科学への関心の向上など、非常に魅力的であると考えている。

今後県と連携し、誘致に向けて取り組んでいきたい。
◆その他◆市立公民館館長の選考等について／佐賀市中部学校給食センターの運営について



リニアコライダー完成予想図

※5 国際リニアコライダー：超高エネルギーの電子・陽電子の衝突実験をおこなうため、現在、国際協力によって設計開発が推進されている将来加速器計画。(略称ILC)